

書窓

Shoso

No.335

2013. 1

太子町立図書館 編集発行

〒671-1561

兵庫県揖保郡太子町鶴

1310 番地 7

Tel (079)277-1580

Fax(079)277-5684

図書館は強い味方

本とわたし

317

上田 智美

私は本が苦手です。読んでも雑誌類やその時々興味あることについての実用書くらいで、小説、随筆等々分厚い本を読んでいる人は「すごいなあ」と見てしまう。ただ絵本だけは違っていた。あのかわいらしい絵と楽しい文は、本の苦手な私に「本はいいよ。楽しいよ。」と呼びかけてくれているかのよう、手に取れる。

絵本の楽しさは子どもが生まれ、一人で読んでいた時の何倍にもなった。子どもと一緒に読んでいると、子どもが大笑いしたり一緒に声に出してくれたりして、一人で読んでいた時には気付かずにいた面白さを発見することがある。また、それぞれの子どものお気に入り、その本が出来る何度も借りて読んでみると、その子の今の興味や好きな物、好みの本の雰囲気等を、私が知っている機会になり、司書の方も覚えていて下さって「こんなものもあるよ。」と勧めて下さるうちに、いつ

からともなく絵本だけでなく様々な児童書へと、楽しみの世界は親子共々広がっている。

でも私は基本的に本が苦手なので、好きなのは絵本・児童書のコーナーで、何か調べたい時もまずここに行く。そんな大好きなコーナーであっても、私一人の目では探しているものが見つけない時がある。それは子どもから出てくる質問。日常生活の中で、私は何気なしに通り過ぎてきたことを子どもは不思議に思う。「インターネット」を使えば簡単という話もあるが、それを上手く使いこなせない私には、図書館は強い味方。「今度は、こんなことを聞いてきたんですが」と助けを求めると、子どもの年齢に応じた答えを様々な角度の本から見つけ出して下さる。これは本に対する知識の豊富な司書の方たちの快い協力の為せる業だと、いつも感心し、感謝する。

選りすぐられた本と、温かな心地良い雰囲気、本への橋渡しをしてもらっている図書館へのお返しは、細く長く利用させて頂き、その中から知識だけでない多くの大切なものを私達が得ることかな...と思いつつながら、また足を運ぶ。

新着図書紹介(ノン・フィクション)

2013. 1

書名	著者	出版社	請求記号
大人にウケる子どもの質問 たのしい雑学	坪内 忠太	新講社	031
マインド・コントロール	岡田 尊司	文藝春秋	145.4
大正という時代「100年前」に日本の今を探る		毎日新聞社	210.6
姫路城主「名家のルーツ」を探る	播磨学研究所	神戸新聞総合出版センター	216.4
図録植民地朝鮮に生きる 韓国・民族問題研究所所蔵資料から	水野 直樹ほか	岩波書店	221
中夏文明の誕生 持続する中国の源を探る	NHK「中国文明の謎」取材班	講談社	222
消えた将校たち カチンの森虐殺事件	J・K・ザヴオドニー	みすず書房	234.9
蒲生氏郷 おもひきや人の行方ぞ定めなき	藤田 達生	ミネルヴァ書房	Bガモ
播磨の峠ものがたり	須磨岡 輯	神戸新聞総合出版センター	291.6
トクヴィルが見たアメリカ 現代デモクラシーの誕生	レオ・ダムロッシュ	白水社	295.3
池上彰教授の東工大講義 世界篇	池上 彰	文藝春秋	304
日本人は中国をどう語ってきたか	子安 宣邦	青土社	319.1
プロフェッショナルリーダーの教科書	経営者ブートキャンプ	東洋経済新報社	335.1
正社員消滅時代の人事改革	今野 浩一郎	日本経済新聞出版社	336.4
ニュートンと贖金づくり 天才科学者が追った世紀の大犯罪	トマス・レヴェンソン	白揚社	337.3
復興と日本財政の針路	高端 正幸	岩波書店	342.1
よくわかるアサーション自分の気持ちの伝え方		主婦の友社	361.4
明治<美人>論 メディアは女性をどう変えたか	佐伯 順子	NHK出版	367.2
介護保険上手に使うカンどころ 第3版	おち とよこ	創元社	369.2
江戸の読書会 会談の思想史	前田 勉	平凡社	372.1
ひとり親でも子どもは健全に育ちます	佐々木 正美	小学館	379.9
数字の国のミステリー	マーカス・デュソートイ	新潮社	410
ヒッグス粒子を追え 宇宙誕生の謎に挑んだ天才物理学者たちの物語	フランク・クローズ	楓書店	429.6
面白くて眠れなくなる地学	左巻 健男	PHPエディターズ・グループ	450
コケの自然誌	ロビン・ウォール・キマラー	築地書館	475
脳はバカ、腸はかしこい 腸を鍛えたら、脳がよくなった	藤田 紘一郎	三五館	491.3
部下をうつにしない上司の教科書 メンタルダウンを避け!	奥田 弘美	東京堂出版	498.8
ボクらのエネルギーって、どうなるの!?	岸田 一隆	エクスナレッジ	501.6
ぼくらの近代建築デラックス!	万城目 学 門井 慶喜	文藝春秋	523.1
かわいいポンポン小物	くまだ まり	PHP研究所	594
北欧スタイルのかぎ針こもの		アップルミンツ	594.3
おくぞの流簡単激早いきいき野菜おかず238	奥 蘭 壽子	講談社	596.3
魚のいない世界	マーク・カーランスキー	飛鳥新社	663.6
エンジェルフライト 国際霊柩送還士	佐々 涼子	集英社	673.9
鉄道名所の事典	伊藤 博康	東京堂出版	686.2
中野京子と読み解く名画の謎旧約・新約聖書篇	中野 京子	文藝春秋	723
死ぬことと生きること	土門 拳	みすず書房	740.4
一億人のデジカメ写真添削講座	河野 鉄平	翔泳社	743
ピアフのためにシャンソンを 作曲家グランツベルクの生涯	アストリート・フライアイゼン	中央公論新社	762.3
オスカー・ピストリウス自伝 義足こそが僕の足	オスカー・ピストリウス	白水社	782.3
人生賭けて 苦しみの後には必ず成長があった	金本 知憲	小学館	783.7
「いいスピーチでしたね」と言われる話し方	金井 英之	すばる舎	816

新着図書紹介(文学)

2013. 1

書名	著者	出版社	請求記号
冷血 上・下	高村 薫	毎日新聞社	タカ
螢草(双葉社)/この君なくば(朝日新聞出版)	葉室 麟		ハム
噂の女	奥田 英朗	新潮社	オク
残り全部バケーション	伊坂 幸太郎	集英社	イサ
私と踊って	恩田 陸	新潮社	オン
繚乱	黒川 博行	毎日新聞社	クロ
コモリと子守り	歌野 晶午	光文社	ウタ
談志が死んだ	立川 談四楼	新潮社	タテ
何者	朝井 リョウ	新潮社	アサ
マリアージュ・マリアージュ	金原 ひとみ	新潮社	カネ
UFOはもう来ない	山本 弘	PHP研究所	ヤマ
しょうがの味は熱い	綿矢 りさ	文藝春秋	ワタ
風はこぶ	青木 奈緒	講談社	アオ
大きな音が聞こえるか	坂木 司	角川書店	サカ
彷徨い人	天野 節子	幻冬舎	アマ
はぶらし	近藤 史恵	幻冬舎	コン
空白を満たしなさい	平野 啓一郎	講談社	ヒラ
宇宙へ	福田 和代	講談社	フク
希望(仮)	花村 萬月	角川書店	ハナ
夜の隅のアトリエ	木村 紅美	文藝春秋	キム
展覧会いまだ準備中	山本 幸久	中央公論新社	ヤマ
西海の虎 清正を破った男	矢野 隆	講談社	ヤノ
無頼の剣	柳 蒼二郎	中央公論新社	ヤナ
心がわり 狸穴あいあい坂	諸田 玲子	集英社	モロ
ぬけまいる	朝井 まかて	講談社	アサ
へその曲げ方 西郷頼母会津藩始末	ジェームス 三木	学研パブリッシング	ミキ
真田三代風雲録	中村 彰彦	実業之日本社	ナカ
遊び奉行	野口 卓	祥伝社	ノグ
桶狭間天空の砦	阿郷 舜	新潮社	アゴ
四〇一二号室	真梨 幸子	幻冬舎	マリ
潜伏者	折原 一	文藝春秋	オリ
残り火	小杉 健治	双葉社	コス
希望の獅子	本城 雅人	講談社	ホン
人質	佐々木 譲	角川春樹事務所	ササ
美少女教授・桐島統子の事件研究録	喜多 喜久	中央公論新社	キタ
論理爆弾	有栖川 有栖	講談社	アリ
夫婦の散歩道	津村 節子	河出書房新社	ツム
コブラ 上・下	フレデリック・フォーサイス	角川書店	Fフオ
白鳥泥棒 上・下	エリザベス・コストヴァ	NHK出版	Fコス
王妃に別れをつけて	シャンタル・トマ	白水社	Fトマ
われらが背きし者	ジョン・ル・カレ	岩波書店	Fカレ
祖母の手帖	ミレーナ・アグス	新潮社	Fアグ

くまのビーディーくん

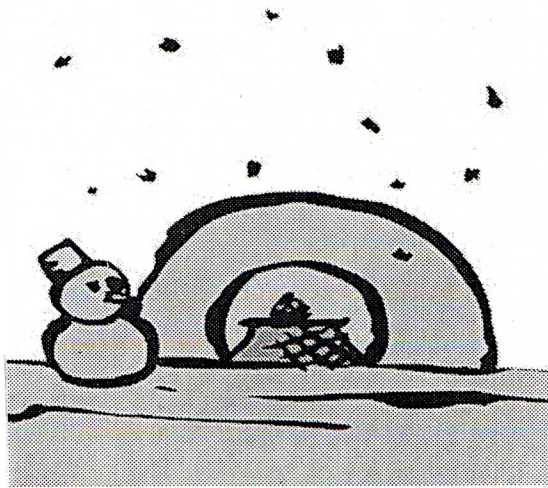
ドンフリーマン さく

まつおか きょうこ やく (偕成社)
ビーディーくんは、ぜんまい仕掛けのおもちゃのくまです。動けなくなると、いつもセイヤーくんがねじをまいてくれます。

ある冬の日、ビーディーくんは、丘の洞穴に住もうと家を出ました。洞穴はビーディーくんにびっぴりの大きさでしたが、その夜、ビーディーくんはまったく眠れませんでした。ビーディーくんは、洞穴の居心地をよくしようと、家から枕をとってきました。丘を下りては、懐中電灯、新聞をとってきましたが、何かが足りません。おまけに、ぜんまいが戻ってしまい、カタン、コロン!とひっくり返ってしまいました。

ぜんまいの鍵をもってきたセイヤーくんにぎゅっと抱きしめられ、家に帰ったビーディーくんの幸せな気持ちや白黒の版面からよく伝わります。読んでもらえば四歳から楽しめます。

(竹内)



子どもの本だな 151

このページは子どもたちにすすめたい本をとりあげています。本を選ぶときの参考にしてください。

イルカの家

ローズマリー・サトクリフ 作
乾 侑美子訳 (評論社)

育ての親である祖母を亡くした少女タムシンは、ロンドンに住むおじの家に引き取られました。その家は壁の飾り彫刻から「イルカの家」と呼ばれていました。でも、タムシンは冒険商人のマーティンおじさんと航海に出たかったです。

おじの一家に親切に迎えられました。タムシンは新しい家で自分の居場所を見つけられずにいました。そんな中、次男ピアズも船乗りになることを切望しながらも、行方不明の長男に代わって家業を継ごうとしていることを知りました。秘密を分かち合ったふたりは、時折こっそりと新世界の絵図を眺め、空想の中で自分たちの船(イルカと冒険のよるこび号)に乗り込みました。不思議なことが起こる夏至の日に出会ったおばあさんからもらった球根を大事に育て始めたタムシンは、ハロウィーンなどの行事を通して、少しずつ寂しさを忘れていきました。

家族みんなが幸せに包まれる結末に深い満足を覚えます。大きな事件や冒険は起こりませんが、当時の市場やお祭りの様子などが九歳の少女の目を通して鮮やかに描かれ、大航海時代のロンドンを五感を使って味わうことができます。十歳くらいから。

(小西)

◆おはなしの時間・絵本の時間に来てください◆

《おはなしの時間》

毎週土曜日に、おはなしの部屋で開いています。

- ・ 11:00～（4歳から小学2年生）
 - ・ 11:30～（小学3年生から中学3年生）
- 1月は「ババヤガーの白い鳥」「ねずみのすもう」などを予定しています。



《絵本の時間》

毎週木曜日、午前11時から（約30分）
2、3歳のお子さんが対象です。お母さんお父さんといっしょに楽しんでください。1月は『ちいさなうさこちゃん』を予定しています。

1月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

1月・2月の移動図書館(いずれも木曜日です)

1月	2月	10:30 ～11:00	11:10 ～11:40	14:30 ～15:00	15:10 ～15:40	16:00 ～16:30
10日	7日	塚森 公民館		福地 三反長 地域内	米田 公会堂	竹広南 公民館
17日	14日	岩見構下 公民館	岩見構上 公会堂	原池団地 公民館	山田 掲示板 前	原 太田東地 区農村交 流センター
24日	21日	広坂 ポスト前	上太田 公民館	沖代 地域内	吉福 公民館	太子ニ ュータ ウン 公民館

2月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
						1 2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

×印は休館、□印は午後1時まで開館。
開館は10時からです。
金曜日は午後8時まで開館しています。

地 下 水

新春を迎え

謹んでお慶びを申し上げます。

昨年十二月、図書館ではガラスケースを置いて、利用者の方たちが作ってくださった木工の作品や折り紙、ぐりとぐらやこねこのびつちの人形を、作り方の本とともに展示した。あわせて、職員の作ったクリスマスツリーの飾りやリース、和綴じのメモ帳などもケースに納めた。

ぐりとぐらが大好きという二歳のRちゃん、来るたびにケースをのぞきこみ手袋でできたぐりとぐらを指さすので、お母さんは作り方を借りて行かれた。お母さん、弟とやって来た二年生のCちゃんも本を選び終わると何度もケースをのぞきこんでいた。大人も感心したのがOさん作の観覧車の模型。まん中にあるつまみを回すとゆっくりと観覧車が回転する仕掛けで、お父さん、お母さんに「作り方が出ていますよ」と本を紹介しても、皆しりごみしてしまう大作だ。

クリスマス頃の頃になると読み返したくなるおはなしが、フアージョンの小品「ガラスのくじやく」(『ムギと王さま』収録・岩波書店)。ロンドンの古い横丁に暮らす子どもたちが、アメ屋やお菓子屋のかざり窓をのぞきこみ、白い妖精の人形に目を輝かせ、サンタクロースやいろいろな飾りののった大きなクリスマスケーキのどのひと切れがほしいかと夢中になっている姿に、ガラスケースをのぞきこむ子どもたちの姿が重なる。

今年もよろしくお願いいたします。

(片木)